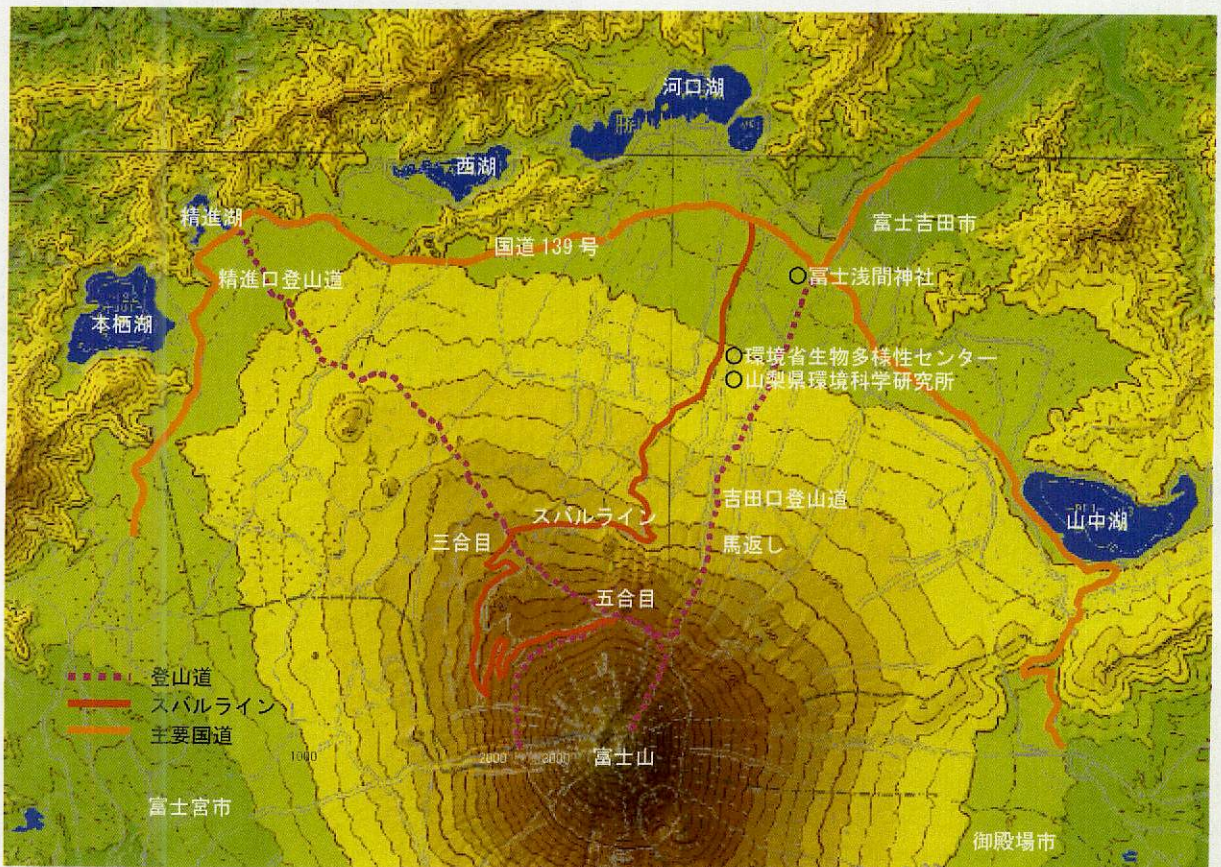


PL.1 調査地（富士北麓地域）



衛星からみた富士北麓地域

ランドサット5号観測画像 観測日：1995年5月18日 カラー合成法：トゥルーカラー（人間が見た色に近い着色法）
 「衛星データ所有：米国政府、衛星データ提供：Space Imaging EOSAT/宇宙開発事業団」山梨県環境科学研究所環境計画学研究室・杉田幹夫氏作成



富士北麓地域の概況図 国土地理院数値地図(20万分の1)をカシミール3Dを使用して改変・作成

PL. 2 調査地 (高山・亜高山)



富士山頂火口
写真左のピークが日本最標高地点・剣ヶ峰 3,775.6m. 撮影：篠田



大沢崩れ (2,800m 付近)
現在も激しい浸食が続く富士山最大の崩壊地. 撮影：篠田



屏風岩 (左：岩壁) と吉田大沢 (右：スコリア)
同じ標高 (3,000m 付近) でも基質が植生を規定する. 撮影：篠田



植生限界 (3,200m 付近)
オンタデやイワスゲなどが先駆植物として生育. 撮影：篠田



高山帯 森林限界 (共通調査地点 St. 1)
不安定な基質にカラマツ低木・オンタデなどが点在. 撮影：萩原



早春の森林限界 St. 1 付近
冬は積雪と強風が厳しく長い. カラマツは旗形樹型を呈する. 撮影：篠田



亜高山帯カラマツ自然林 (共通調査地点 St. 2)
富士山を分布南限とする貴重な天然カラマツ林. 撮影：萩原



亜高山帯シラビソ自然林 (共通調査地点 St. 3)
本州中部亜高山帯に典型的な陰樹林. 撮影：萩原